

授業概要

人間の心身の発達を学ぶことは、自己理解や他者理解の基本的知識となりうる。保育者、教師といった人と密接に関わる職業に関心がある者は、特に、人間の発達段階、発達課題といった基本的な知識や概念を理解しておくことが望ましい。知識の紹介にとどまらず、幼稚園、保育所、学校といった現場での実際の子どもの姿も紹介する。

授業計画

第1回	保育者・教育者のための発達心理学とは
第2回	保育・教育を巡る最近の話題
第3回	胎児期から新生児期の発達と特徴
第4回	乳児期の発達と特徴
第5回	幼児期の発達
第6回	幼児期の特徴
第7回	児童期の発達
第8回	児童期の特徴
第9回	思春期の発達
第10回	思春期の特徴
第11回	障害の分類と特徴
第12回	障害児保育・教育の実際
第13回	施設に入所している子どもの発達の特徴について
第14回	子どもを支える社会的資源
第15回	生涯発達の視点からの保育・教育
第16回	試験

到達目標

- ・発達心理学の基本的な知識や概念を理解し、説明できる。
- ・将来、自分が中・高等学校の教師として生徒と接する際に、学習した内容を生かすことができる。
- ・学習を通じて、思春期から青年前期の生徒との関わり方、同僚の教師との関わり、保護者との関わり方などにも興味・関心を持つことができる。

履修上の注意

- ・ 将来、教師を目指し、自分から学習する意欲があること。
- ・ ペアによる協同学習を行います。ペア毎による発表があります。
- ・ 学級づくりのためのグループワーク、ペアワークを取り入れています。

<重要>本授業は中・高教員免許状の教職課程に登録している者を対象に開講されています。それ以外の者は履修できません。

予習復習

・ 予習としてテキストを最低3回音読してから授業に臨むこと。復習においても学習箇所を3回音読すること。授業の中で初めて聞いた言葉、発達心理学の専門用語については、事典を使って調べること。

評価方法

評価基準は授業への参加と発表(30%)、授業中の課題への取り組み(30%)、期末試験(40%)である。

テキスト

初回授業で指示する。